

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度評価結果

松阪市企画振興部経営企画課

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

≪ 数値目標 ≫

指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
人口 ^{※1}	159,774人 (R1)	159,145人 (R2)	157,850人 (R3)				157,950人	E	人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。引き続き人口減少に対応する取組を進める必要がある。
合計特殊出生率 ^{※2}	1.50人 (H30)	1.45人 (R1)	1.39人 (R2)				1.74人	E	本市の合計特殊出生率は下降傾向にあり、三重県の出生率1.42より低くなっている。今後も更に子育て環境の充実に取り組む必要がある。
現在の生活への満足度 ^{※3}	75.0% (R1)	—	78.5% (R3)				77.0%	A	満足度は目標値の77.0%を上回っているが、引き続き満足度の上昇に向けた取組を進めていく。

※1 平成27年、令和2年国勢調査より。各年度の基準日は10月1日。住民基本台帳による人口動態（自然増減、社会増減）により各年度の人口を推計したもの（推計人口）。

※2 三重県の人口動態「衛生統計年報 第5表人口動態総覧（率）－保健所・市町別」より

※3 市民意識調査より

≪ 参考資料 ≫ 住民基本台帳による松阪市の総人口（基準日：10月1日）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
松阪市の総人口（住民基本台帳）	163,644人	162,244人	160,949人			
前年との比較		△ 1,400	△ 1,295	△ 160,949	0	0

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	定住促進									
基本目標	住みたい・住み続けたいまちをつくります									
	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
	総合的にみて松阪市は住みよいまちとを感じる人の割合	76.7% (R1)	—	80.7% (R3)				80.0%	A	R1市民意識調査と比較し、住みよいまちとを感じる人の割合は4%増加した。引き続き定住促進の取組を進めていく。

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
魅力あるまちづくり	1	転入者数	5,009人 (R1)	4,382人	4,415人				5,050人	E	R2と比較しわずかに33人の増加となっているが、現状値である5,009人を下回っており、今後も移住促進に取り組んでいく。
	2	転出者数	5,411人 (R1)	5,000人	4,720人				5,347人	A	R2と比較し280人の減少となっているが、コロナの影響が考えられる。今後も雇用創出と連携した移住促進の取組を進める必要がある。
	3	空き家バンク成約世帯数（累計） ※中山間地域	57世帯 (R1)	72世帯	88世帯				90世帯	A	空家バンクの利用希望者は年々増加しているが物件が不足している。引き続き地域と連携した物件登録の促進に取り組んでいく。
	4	住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域	1地域 (R1)	1地域	1地域				3地域	E	コミュニティ交通ではないが、住民相互による買物支援等に取り組む地域が少しずつ増えてきており、今後も活動を支援していく。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タクシーの運行エリアであるが、路線バス停留所や鉄道駅などまで距離がある虹が丘町自治会が導入するコミュニティ交通を支援しました。(R1～R2) ○地域主体で導入した虹が丘町の乗合タクシーの利用促進について、地域、運行事業者、行政で利便性向上に向けて運行形態について協議しています。(R3～) ○空家バンク制度を推進し、空き家の有効活用に取り組みました。(H26～) ○地域おこし協力隊を活用し、中山間地域の魅力発信や地域資源の活用、地域を担う人材育成等に取り組みました。(R元年～) ○移住相談総合窓口「まつさか移住交流センター」を拠点に、土日対応で移住・定住促進に取り組みました。(R2～) ○サテライトオフィスを活用し、地域経済の活性化と交流人口・関係人口の増加を促進しました。(R2～) 											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
魅力松阪発信の	5	松阪市ホームページの月平均アクセス数	181,892件 /月 (R1)	312,413件 /月	340,826件 /月				200,000件/月	A	目標値を上回っているが、引き続き松阪市の魅力発信に取り組んでいく。
	6	SNS（インスタグラム、ツイッター等）の総フォロワー数	5,380件 (R1)	8,306件	9,696件				10,000件	A	さまざまな情報発信、キャンペーンの実施によりフォロワー数は増加している。さらに増加に向けて取組を進めていく。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2020年（令和2年）開催予定であったみえ松阪マラソン特設サイトを作成し、PRを行った。（R1～） ○2021年（令和3年）開催予定である「国体」の特設サイトを作成し、PRを行った。（R1～） ○移住定住の情報発信を強化するため、「移住定住」のサブサイトをリニューアルし、公開した。（R1～） ○松阪市公式インスタグラムでキャンペーンを実施し、フォロワー数の増加を図った。（R1・R2・R3） ○松阪市内の飲食店のPR・情報発信をするため、松阪市内店舗PR動画「ウチの逸品」を作成・公開した。（R2～） ○観光情報の発信を強化するため、R28から公開している「観光プロモーションサイトに加えて、」松阪市観光インフォメーションサイト「ワクワク松阪」を公開した。（R2～） ○子育て世代が必要な情報をよりわかりやすく発信するため、「松阪市の子育て情報サイトを作成し、公開した。（R3～） 										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	少子化対策								
基本目標	結婚・出産の希望がない、次世代を担う子どもを健やかに育てるまちをつくります								
指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
子どもたちがのびのび育つ環境への満足度	3.01/5 (R1)	-	3.03/5 (R3)				3.10/5	E	R1と比較しわずかに満足度は上昇しているものの、引き続き子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。
子どもたちが安心して教育を受けられる環境への満足度	3.08/5 (R1)	-	3.08/5 (R3)				3.15/5	E	R1から満足度は変わっていないため、引き続き子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
結 婚	1	20～49歳の未婚率	32.2% (R1)	-	36.1% (R2)				31%	E	R1と比較し未婚率が上昇している。結婚は個人の考え方や価値観が尊重されるべきものであるため、市としては結婚・出産や子育ての希望をかなえることができる環境づくりに取り組んでいく。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出逢い創出事業を通じて、未婚者の結婚意識の高揚を図り、少子化及び定住化対策を目的としてイベントを開催することにより、独身男女に出会いの場を提供した。 (実績) ○H27=26名参加(カップリング4組)、H28=37名参加(カップリング4組)、H29=54名参加(カップリング7組)、H30=56名参加(カップリングまで追わず)、H31(R1)=コロナのため開催せず。 R2=21名参加(カップリングは追わず) R3=56名参加(カップリングは追わず) ※令和2年度より、リバーサイド茶倉指定管理委託事業として実施 										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
出 産	2	産婦健康診査受診率	86.2% (R1)	86.90%	89.00%				100.0%	E	令和4年度から県下集合契約となり、県内の産婦健診受診体制が整った。窓口や医療機関での産婦健康診査周知を継続する。
	3	松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.8% (R1)	96.20%	97.70%				100.0%	D	妊娠・出産・子育てを途切れなく支援する「松阪版ネウボラ」の体制強化を図る。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○妊娠・出産・子育て期の途切れのない支援を行う「松阪版ネウボラ」を推進し、松阪版ネウボラの拠点として健康センター（平成27年度～旧健康センター 平成29年度～健康センターはるる）と嬉野保健センター（平成30年度～）を「子育て世代包括支援センター」として活動。 ○新型コロナウイルス感染症対策の一環として家庭での仕事や生活が長期化しがちなライフスタイルの中で、妊産婦や乳幼児の保護者を対象に悩みや不安を軽減するための個別のオンライン相談を実施。（令和2年～） ○コロナ禍で感染ハイリスクとされる妊婦を対象に健やかな妊娠期を送れるように少人数制でオンラインでのプレママ教室を実施。（令和2年～） ○生後1～2か月の子どもと母を対象にコロナ禍でも安心して交流機会がもてるようオンラインで「新米ママ教室」を試験実施。（令和3年度。令和4年度から「オンラインベビールーム」として、新規事業化） ○多胎児を妊娠中または未就学の多胎児を子育て中の保護者を対象に、多胎児家庭の結びつきと多胎児の育児経験者等の体験談をもとにした交流の機会での不安の解消を図るサロンを実施。（令和2年～） 										
施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
子 育 て	4	保育園の待機児童数（10/1国基準）	117人 (R1)	37人	42人				50人	A	R1と比較し、半分以下を維持できている。R5に新たに開設する私立保育園の選定も行うことができ、一層の待機児童減が期待できる。
	5	幼稚園の「預かり保育」実施園数	4園/18園 (R1)	4園/18園 (R2)	10園/18園 (R3)				10園/18園	A	預かり保育を実施する園を増やし、幼稚園を利用し、就労する保護者等のニーズに対応することができた。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私立認可保育園の新設、移転・改築に対し支援を実施し、定員増（計389人増）を行いました。（H27わかすぎ保育園：40名増、H28わかすぎ第3保育園：180名増（新設）、H30つくし保育園：40名増、R2久保保育園：40名増、R2神戸保育園：30名増、R2山室山保育園：40名増、ちいさな保育園：19名増（新設））（H27～R3） ○令和5年4月開設予定の新しい私立保育園の選定を行い、「松阪清泉愛育園」（定員180名）に決定しました。令和4年から建設を開始します。 ○公立春日保育園の移転・改築を実施し、定員増（70名増）を行いました。（H30～R2） ○保育園で保育中に体調不良となった園児を医療機関へ送迎・受診する病児・病後児送迎事業を開始しました。（R2～） ○18歳未満の兄弟がいる第3子以降の保育料等を免除するワンモアベビー支援事業を開始しました。（R2～） ○子育て支援センターにて、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行い、乳児又は幼児及びその保護者の相互の交流をしました。（継続） ○令和元年10月より開始された「幼児教育・保育の無償化」について、保護者周知・対応をはじめ、事業を円滑に開始しました。（R元～） ○公立認定こども園3園（飯南ひまわりこども園、飯南たんぼこども園、やまなみこども園）を開園しました。（R2～） ○公立保育園で発生する紙おむつを園での回収処分及び、公立保育園全園で主食炊飯を開始しました。（R3～） ○松阪市立春日保育園で、午後9時までの超延長保育を令和3年10月から開始しました。（R3～） ○公立幼稚園の預かり保育実施園を4園から6園増やし、10園で開始しました。（R3～） ○一時預かり事業幼稚園型を市内幼稚園1園で、令和3年10月から実施しました。（R3～） ○松阪市立保育園で土曜日保育実施園を3園（第一、春日、三雲南）増やしました。（R4～） ○一時預かり事業で、「多子世帯出産後支援」、「ひとり親負担軽減支援」を実施します。（R4～） 										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
子どもの教育	6	家庭学習におけるICTの活用度	4.6% (R1)	4.7% (R2)	65.5% (R3)				60.0%	A	GIGAスクール構想で導入した1人1台タブレットを活用し、感染症対策や不登校等の理由により学校に登校できない子どもたちに、学びの機会を提供できるよう、学校・家庭学習における利活用の充実、教育ICT環境の充実を図った。今後、さらに市全域としての取り組みを広げるために、教職員向けの研修講座の充実を図っていく。
	7	学級満足度尺度調査（Q-U）による満足度	59.3% (R1)	62.9% (R2)	63.9% (R3)				65.0%	B	R2年度と比較すると、1.0ポイント上昇していた。しかし、人間関係を構築してうえで必要な人への「配慮」と「関わり」のスキルが身についていない児童生徒が多い。コロナ禍において、人との関わりが制限される中、各校におけるソーシャルスキルトレーニングを含めた学級経営等の支援を計画的に進めていく。
	8	1日10分以上読書（授業以外）をしている割合	56.4% (R1)	55.1% (R2)	55.6% (R3)				60.0%	E	R2年度と比べ、若干微増しているが、R元年度と比べると低い。要因として、新型コロナウイルス感染症に係る外出自粛や、臨時休校による子どもたちの読書環境がコロナ以前と比べ異なったことが考えられる。今後、社会情勢を踏まえ、読書環境の充実とともに、家庭学習や家庭での読書習慣の確立のための取組を継続して進めていく。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校読書室へ図書館司書を配置し、環境整備や読書ボランティアの育成を行いました。（継続） ○一部の学校で、学校読書室の書籍をバーコード化し、松阪市図書館と連携のできるシステムを導入しています。（H28～） ○すべての学校に1人1台のタブレットを整備し、授業等での活用を開始しました（R2～） ○ICTを活用した持ち帰り学習や、感染症対策等により学校に登校できない場合のオンライン学習に取り組みました（R3～） 											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	雇用創出									
基本目標	地域産業の活性化により雇用を生み、みんながいきいきと働けるまちをつくります									
	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
	いきがいをもって働ける魅力ある環境への満足度	2.79/5 (R1)	—	2.85/5 (R3)				2.85/5	A	R1と比較して上昇している。引き続き働く場の充実に取り組んでいく。

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
地域産業の振興	1	市内事業所従業者数（工業統計調査）	13,207人 (R1)	13,569人	14,212人				13,300人	A	引き続き雇用の確保に向けて取り組みを継続していく。
	2	魅力的な商店づくりや中小企業の支援等地域の産業を育てる取組への満足度	2.89/5 (R1)	—	2.93/5 (R3)				3.00/5	D	増加傾向にあるが目標達成に向けて更なる取組をおこなっていく。
	3	高校生の地元就職率	40.7% <small>(H26~30平均値)</small>	41.7% <small>(H27~R01平均値)</small>	43.5% <small>(H28~R02平均値)</small>				43%	A	引き続き、若者の地元就職及び地元定着の取組を進めていく。
	4	市内耕地面積のうち、担い手となる中心経営体への集積率	48.1% (R1)	50.80%	52.60%				60%	D	中心経営体への集積について、関係機関と連携し、進めていく。
	5	実質化された人・農地プラン地区数	100地区 (R1)	104地区	112地区				120地区	C	関連する事業実施地区及び実施を検討している地区に係る情報収集、勧奨を行う。(令和5年度に制度改正あり)
	6	モニタリング対象10施設入込客数増減率（平均）	100% (R1)	77%	67%				110%	E	昨年に引き続き、大半の施設が入込客数の減となった。引き続きアフターコロナを見据えた取り組みが必要である。
	7	観光消費額(推計)増減率	100% (R1)	67%	51%				110%	E	昨年に引き続き、ほとんどの施設が入込客数の減となった。引き続きアフターコロナを見据えた取り組みが必要である。
	8	市内事業者に対する連携支援件数（累計）	11件 (R1)	12件 (12件)	24件 (12件)				40件	D	コロナ禍での、商材及び人材マッチングを積極的に取り組みを行った。

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

地域 産業 の 振 興	これまでの主な取組 ○産業の競争力を強化するため、産学官金連携を支援し、共同開発や販路拡大等を促進しました。(継続) ○事業所の抱える課題解決を図る為、松阪市産業支援センターによる相談窓口の設置、各種セミナーの開催、専門家派遣事業等を実施(継続) ○豪商のまち店舗改装支援事業にて、市内店舗の改修費用の一部支援を実施(継続) ○卒業予定者の地元就職の促進資料として、地元の求人予定事業所の紹介ガイドブックを作成し、管内及び周辺高等学校等に配布する取り組みを行った。(継続) ○農業関係の補助事業等の支援と並行し、担い手となる中心経営体への農地集積をすすめました。 ○地域の話合いを通じ、担い手となる中心経営体へ集積していくための人・農地プランの作成を支援しました。 ○観光戦略の広域化を目的に1市3町と観光協会、商工会議所、商工会の14団体で構成する「松阪・多気・明和・大台圏域観光連携事業推進協議会」を平成28年5月2日設立。 スケールメリットを活かした事業の基幹として圏域観光情報誌「るるぶ松阪多気明和大台」を制作、高速道路SAなどのパンフレットラックへの配備、各種イベント会場で配布するなどの観光連携PR事業を実施した。 (H28～※R2,3は新型コロナウイルスの影響により一部中止や縮小あり) ○松阪の重厚な歴史・文化を活かした「まちなか観光」の推進のため、平成31年4月に開館した「豪商のまちま松阪観光交流センター」と、松坂城跡周辺の歴史文化ゾーンに点在する「旧長谷川治郎兵衛家」、「旧小津清左衛門家」、「原田二郎旧宅」を、指定管理者制度により「一般社団法人松阪市観光協会」に委託し、一体的な経営を行ったことで、特色のある企画展やイベントなどを開始することができ、多数の観光客誘致を図りました(H31～※R2,3は新型コロナウイルスの影響により一部中止や縮小あり) ○新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の支援を目的にクーポン事業などの各種施策を実施した(R2) ○スマートフォンでの閲覧を意識した観光情報インフォメーションサイトを新たに作成し、観光情報の発信や各種キャンペーンを展開した(R2～) ○SNS(Instagram)を活用し、観光情報の発信や各種キャンペーンを展開した(R2～) ○令和3年に国指定史跡松坂城跡が指定10周年と60周年の記念回となる「氏郷まつり」を契機として、松坂城跡のグッズ作成、企画展「蒲生氏郷と松坂城」の開催、12月に横浜市で「お城Expo2021」への松坂城跡の初出展を実施し、全国に蒲生氏郷及び松坂城跡の魅力を発信でき、松阪市の観光地としての魅力向上に努めることが出来た(R3～)										
施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
企業 誘 致	9	企業立地件数(累計)	3件 (R1)	4件 (4件)	6件 (2件)				12件	D	コロナ禍での新規投資の支援を推進した。
これまでの主な取組 ○三重県をはじめ関係機関と連携しながら、企業立地に関する優遇制度をPRし、企業誘致活動を展開しました。(継続) ○企業立地アンケート等の動向調査を実施し、企業情報の収集に努めました。(継続)											
施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
仕 事 の 創 出	10	創業に向けて相談を行っている者	38人 (R1)	35人 (R2)	33人 (R3)				50人	E	目標達成に向けてセミナーの充実等ニーズに合った施策を講じ取組を行っていく。
	11	相談支援から創業につながった人数	26人 (R1)	22人 (R2)	18人 (R3)				30人	E	目標達成に向けて創業しやすい環境整備等を充実させ取組を行っていく。
これまでの主な取組 ○創業セミナー、子育て世代を対象としたビジネスセミナーを開催。(継続)											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
フ ワ の バ ラ ン ス イ の 推 進	12	余暇の充実度	64.6% (R1)	—	64.1% (R3)				65.0%	E	目標達成に向け引き続き啓発に努めます。
	これまでの主な取組 ○ワーク・ライフ・バランスの啓発と普及を目的として事業所訪問を実施し意識啓発を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業所訪問は取りやめ、啓発に関する資料を関係各課と連携し市内事業所へ送付しました。										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	地域づくり								
基本目標	地域の絆を深め、安全で安心な住みよいまちをつくります								
指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
総合的にみて松阪市は住みよいまちと感じる人の割合	76.7% (R1)	-	80.7% (R3)				80.0%	A	R1市民意識調査と比較し、住みよいまちと感じる人の割合は4%増加した。引き続き地域づくりの取組を進めていく。
住民自治協議会（住民協議会）のまちづくり活動に参加している人の割合	21.7% (R1)	-	48.4% (R3)				40.0%	A	R1と比較し大幅な増となった。コロナの影響もあるが、引き続きまちづくり活動の取組を進めていく。
市民と行政との協働を推進するまちづくりの満足度	2.95/5 (R1)	-	2.94/5 (R3)				3.05/5	E	R1よりもわずかに満足度は下がっている。引き続きまちづくり活動の取組を進めていく。

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
コ ミ ュ ニ テ ィ づ く り	1	地域計画の策定	41地区 (R1)	43地区	43地区				43地区	A	すべての地区において地域計画が策定されました。住民自治協議会発足に伴い地域計画の見直しも進めていく。
	2	地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数	40団体 (R1)	42団体	43団体				50団体	D	コロナ禍でのイベント開催についての意見交換や住民自治協議会の訪問などを実施した。次年度の支援につなげていく。
	3	お元気応援ポイント事業団体登録参加数	576団体 (R1)	609団体 (R2)	638団体 (R3)				610団体	A	目標値を達成し、さらに団体登録の参加を促進していく。
	4	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価(H30の現状値はシティマラソンの評価)	62.9点 (H30)	-	-				90点	-	新型コロナウイルス感染症の影響により大会の開催を延期した。
	5	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度	3.00/5 (R1)	-	2.98/5 (R3)				3.10/5	E	R1よりもわずかに満足度は下がっている。引き続きスポーツの環境づくりの改善をすすめていく。
これまでの主な取組 ○松阪市地域の元気応援事業市民活動サポート部門に応募した団体について、げんきアップ松阪について紹介・登録を行った。(R2～)											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3実績値	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
安全・安心	6	災害に対する備えをしている人の割合	41.4% (R1)	-	40.6% (R3)				50.0%	E	R1市民意識調査の結果から0.8ポイント減少している一方、防災対策の満足度はR1より0.05ポイント上昇している。継続して災害への備えの啓発等に取り組んでいく。
	7	浸水対策事業に対する市民満足度	2.77/5 (R1)	-	2.85/5 (R3)				2.90/5	C	R1と比較し増となった。今後も浸水被害の軽減を目標に整備を進めていく。
	8	交通事故死傷者数(1月～12月)	334人 (R1)	283人	262人				289人	A	交通安全教育、啓発の他、交通取り締まりや自動車技術の進歩等、複合効果により減少した。
	9	犯罪をなくし安全で安心して暮らせるまちづくりの満足度	2.95/5 (R1)	-	3.05/5 (R3)				3.00/5	A	満足度は、上がっているため、引き続き安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいく。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内の1級河川及び2級河川における想定最大降雨に対応した洪水ハザードマップの作成と配布を行いました。(R1～) ○浸水地域を重点的に浸水被害の軽減に向け、雨水排水路改修工事と雨水排水ポンプの施設整備工事を継続して実施しています。 ○交通安全教育指導員「とまとーず」による交通安全教室を開催しました。(H18～) ○松阪地区生活安全協会、松阪警察署と連携した街頭啓発、出前講座などによる特殊詐欺被害防止をはじめとした防犯啓発活動に取り組みました。(H28～) ○防犯カメラを設置する自治会を対象に設置等費用を支援することで地域の防犯や治安向上を図った。(H30～) ○犯罪被害により日常生活が困難となった犯罪被害者やその家族を支援する制度を創設した。(R1～) ○市内在住65歳以上の方を対象に特殊詐欺等被害防止機器購入補助金制度を創設し、被害を防止する取り組みをはじめました。(R3～) ○地域の実情に応じた防災計画「地区防災計画」策定支援として、各住民自治協議会を対象に「地区防災計画策定セミナー」を開催しました (R3～) 											